

東山温泉(若松)との絆 紹介

80年前 集団疎開した根岸小(東京区)

根岸だより



根岸小児童の疎開と東山盆踊りを紹介した「根岸だより」

同校が6月末に発行した学校広報「根岸だより」に東山盆踊りの

「盆踊り」に思い寄せ

太平洋戦争末期、会津若松市の東山温泉に児童が集団疎開した東京都台東区の根岸小で、当時の児童を励まそうと開催された東山盆踊りの経緯や、今夏復活する盆踊りが保護者や児童に紹介された。80年の時を超えて、歴史的なつながりを巡る共感の輪が広がっている。

起源と現在が掲載された。広報は小西祐一校長が「集団児童疎開から80年」と題し、1944(昭和19)年8月に始まった疎開などを振り返っている。

東山の人々の温かい心遣いはどれほど大きな励みになったことでしょうか」と思いを寄せた。コロナ禍を経て8月に5年ぶりに開催される今回の盆踊りにしても、東山温泉観光協会が制作したPRポスターを掲載しながら「80年前、本校の児童がお世話になった東山の皆さんに、心から感謝申し上げたい」とつぶやいた。

今年、台東区が盆踊りを区民にPRするなど、東山温泉と台東区の縁が復活した。市内の関係者からは、ゆかりの学校でも盆踊りに関心を寄せてくれることに感謝の声が上がっている。